

エクステリア用品のデザイン開発

榊原 晴勝 永柳 辰一 山本 紀一

Design of Exterior Goods

by

Harumasa SAKAKIBARA, Tatsuichi NAGAYANAGI and Kiichi YAMAMOTO

豊かな社会に向けて、住環境の整備が推進されているなか、公共空間においても潤いとやすらぎをもたらす環境用具の開発が望まれている。そこで、歩道や公園などの公共空間に機能性と環境美をもたらす陶磁器製エクステリア用品のデザイン開発を行った。デザイン設計には、3次元CADを活用して、デザインシミュレーションを行うのと同時に新しい用途を付加したアイテムの検討もした。広い空間を意識したサークル・フラワーポット、サークル・フラワーポット・カバーは、連結することにより円や弧となり、空間を仕切る垣根としても利用できる。駐車緑石は、車止めの機能だけでなく、装飾性とインフォメーション機能をもたせた。他に植木鉢を立体的に飾るフラワーポット・スタンド、個人の庭や公園を楽しく歩行できる飛び石、街角に潤いとインフォメーション機能をもたらすストリート・ファニチャーを試作した。

1. まえがき

豊かな社会に向けて、住環境の整備が推進されているなか、公共空間で使用される環境用具の開発が望まれている。このため、歩道、公園や一般家庭に設置するフラワー・ポット、飛び石などについてデザインを提案し、試作品を作製した。

2. デザイン開発とその背景

都市景観の推進に向けて、公共空間の整備や個人住宅と公共空間の接点の調和に対する生活者の関心が高まっている。こうした状況に対応できる新たな用途の陶磁器製品の開発について検討した。デザイン・試作にあたっては「地場産業の製造技術の活用」、「業界の未着手製品の開発」をコンセプトに新アイテムによる陶磁器製品の需要拡大を狙った。

3. デザイン設計と製作意図

デザイン設計においては、3次元CADを活用して、形状や色彩などについてデザインシミュレーションを行いデザインを検討した。アイテムと製作意図は次のようである。

「サークル・フラワーポット」

都市景観整備の一環として公共空間への草花の導入を容易にするため、連結することにより木の周囲に円形で配置できる円弧形状のポットとした。円弧の成形には、陶管の曲がり管成形技法を活用した。 (写真1)

「サークル・フラワーポット・カバー」

植木鉢が風等で転倒することの防止と、植木鉢による公共空間の演出を狙った。試作には、サークル・フラワーポット同様陶管の曲がり管成形技法を取り入れた。 (写真2)

「駐車緑石」

公共施設や家庭の駐車場の環境整備を図るため、駐車緑石に装飾性とインフォメーション機能を持たせた。成形には、製管機を活用した。文字及び柄の装飾は、抜き模様にした。 (写真3)

「フラワーポット・スタンド」

壁等に立て掛けた状態で鉢を入れ、草花を立体的に飾ることにより設置面積の軽減化並びに個人住宅と公共空間の融合化を図った。成形には、製管機を活用した。焼成後中央部で連結している。上部及び下部の穴は、転倒防止のため、横の穴は、横に数本連結するのを可能とするため、設置可能な鉢のサイズは、4、4.5、5号鉢である。 (写真4)

「飛び石」

公園や庭の通路を歩き易くかつ楽しくするため、表面

に各種の模様をレリーフした。兎は、子供向けに家庭や公園での設置を想定した。瓦はいぶし焼成により、日本らしさを追及した。他に、常滑らしさを出すため陶管模様もデザインし、成形は鋳込み成形にした。

焼成後、裏面の空間にセメントを充填して強度をもたせるのと同時に、地面への設置固定用金具も取付けた。

(写真5)

「ストリート・ファニチャー」

街角や公園に設置し、色鮮やかな草花が植えられた憩いの場所の提供だけでなく、地図等を表示した情報板の役割や日時計及び照明灯の機能も付加させた。成形は、製管機を活用し、施工性を考慮してパーツ構成とした。

下部の穴は、現場設置後の連結と装飾を持たせるための穴である。地図及び日時計の文字は上絵の直接刷りと転写、照明灯は施工の容易さを考慮して市販のソーラ部品を使用した。

(写真6)

なお、試作に使用した素地は、製管機による成形品は業界陶管素地、鋳込み成形品はとこなめ焼協同組合14号素地、釉薬は、鉄赤釉¹⁾・伊良保釉²⁾・白光沢釉³⁾で全て電気炉で1180℃焼成した。また、上絵については750℃焼成した。

4. まとめ

景観を整備するための、陶磁器製環境用具のデザインを3次元CADにより、形状や色彩などをデザインシミュレーションした後、試作を行った。

- (1) 都市景観整備の一環として公共空間への草花の導入を容易にするため、木の周囲に円形で配置できるサー

クル・フラワーポットと、植木鉢が風等で転倒することを防止したサークル・フラワーポット・カバーのデザインと試作を実施した。

- (2) 個人住宅と公共空間の融合を図るため、外壁等に立て掛けた状態で鉢を入れ、草花を立体的に飾るフラワーポット・スタンドのデザインと試作を実施した。
 (3) 公共施設や家庭の駐車場の環境整備を図るため、装飾性とインフォメーション機能を持った駐車緑のデザインと試作を実施した。
 (4) 公園や庭の通路を歩き易くかつ楽しくするため、表面に各種の模様をレリーフした飛び石のデザインと試作を実施した。
 (5) 街角や公園に設置し、色鮮やかな草花が植えられた憩いの場所の提供だけでなく地図等を表示した情報板の役割や日時計及び照明灯の機能も付加させたストリート・ファニチャーのデザインと試作を実施した。

謝 辞

陶管素地を提供して頂いた(有)滝田陶管に感謝します。

文 献

- 1) 愛知県常滑窯業技術センター，創立50周年記念誌，43(1991).
 2) 愛知県常滑窯業技術センター，創立50周年記念誌，67(1991).
 3) 愛知県常滑窯業技術センター，創立50周年記念誌，34(1991).



写真1 サークル・フラワーポット
W460×D220×H120mm



写真2 サークル・フラワーポット・カバー
W460×D220×H120mm

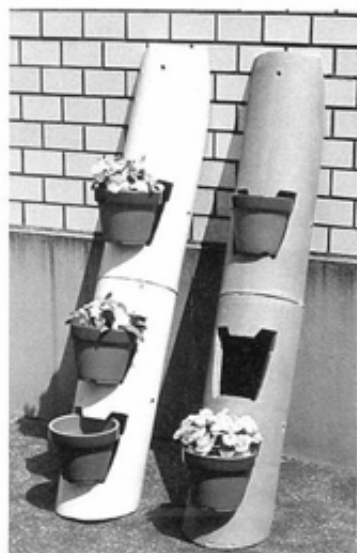


写真3 フラワーポット・スタンド
W180 × D550 × H1000 mm

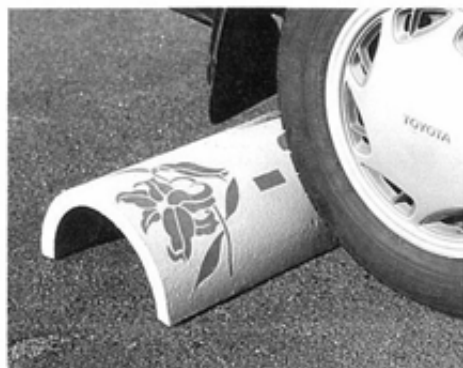


写真4 駐車縁石
W460 × D300 × H150 mm

W460 × D370 × H120 mm

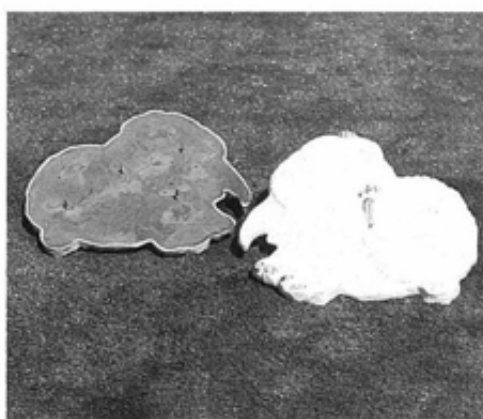
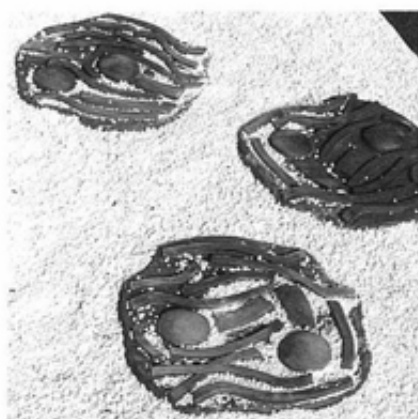


写真5 飛び石
W400 × D400 × H30 mm

W400 × D400 × H30 mm

W360 × D300 × H30 mm

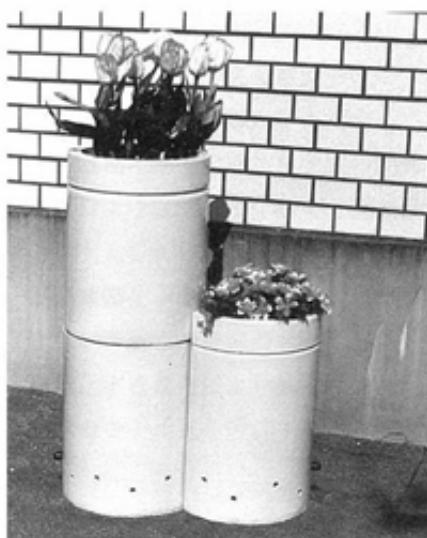


写真6 ストリート・ファニチャー
W550 × D300 × H770 mm

W800 × D300 × H870 mm

W550 × D300 × H870 mm